

AG PRESS

大学だより

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

Oct. 2017 [vol.204]

【特集】

はじめての 「禅」

海外研修レポート

東日本大震災
ボランティア活動報告

シューカツの現場から

企業が求める「社会人基礎力」

アトリウム

(名城公園キャンパス)

キャッスルホールとアガルスタワーの間に広がる吹き抜け空間は、名城公園の木々を借景にした癒しと開放感あふれるスペース。特徴的なアーチ型のスケルトン屋根の下を学生たちが活発に行き交う、キャンパスのシンボルです。



2017

キャンパス発、旬のトピックスをご紹介します。

OCT

J A あいち尾東との連携協定 締結後、野菜の初収穫。

TOPICS
01

平成29年7月6日中日新聞朝刊より 承諾番号20170727-19854



づくりに挑戦。7月にはミニトマトやバジルを収穫しました。この経験が食や栄養の勉強にもつながるはず。

本学とJ A あいち尾東は、今年1月13日(金)に健康・食・農をつなぐ地域農業の振興に資する事業、生涯学習など互いの資源や機能の活用を目的として包括連携協定を締結しており、健康栄養学科を中心に活動しています。その一環として、J A 営農指導課の方のアドバイスのもとで学生たちが学内で野菜

JAL・HISとの旅行商品企画完成、 11月末まで販売中

日本航空株式会社(JAL)、株式会社エイチ・アイ・エス(HIS)、愛知学院大学との産学連携企画「わく旅プロジェクト」による旅行商品を、文学部グローバル英語学科の学生グループが企画。通常はひとつのホテルに滞在する宿泊形態を、3つの地域とホテルに分泊する斬新なアイデアとハワイ初となるデイズニー直営リゾートの利用を提案し、旅行商品「あっちゃこっちゃハワイ8日間」を完成させました。11月末まで、HISの店舗に



TOPICS
02

薬学部・高橋知里助教、 歯学部・西田英作助教が 各学会奨励賞を受賞

第33回「医学生物学電子顕微鏡技術学会奨励賞」に薬学部製剤学講座 高橋知里助教が選ばれ、5月13日(土)に授賞式が行われました。薬学と工学を融合した新規電子顕微鏡解析技術の確立とそれにより得られた情報に基づく新規材料の設計、産学に貢献する優れた業績が認められての受賞でした。また6月8日(木)、「第146回日本歯科保存学会 2017年度春季学術大会」で、歯学部歯周病学講座 西田英作助教が「日本歯科保存学会奨励賞」を受賞。歯周病と動脈硬化症発症の関係解明に向けた将来的に有用な基礎的研究が評価されました。高橋助教、西田助教のさらなる活躍を祈念します。



TOPICS
03



TOPICS
04

株式会社セルテクノロジーと連携

本学と株式会社セルテクノロジーは、歯髄細胞を用いた歯科領域を中心とした再生医療の実用化加速を目的に産学連携合意書を締結しました。従来廃棄されていた脱落乳歯や抜去歯から採取可能な歯髄細胞は、再生医療に利用できる幹細胞として有望視されています。他家移植を主な目的として収集・備蓄する「歯髄細胞ストック(献歯™)」の活動拡大及び歯科領域を中心とした再生医療製品を目的に、以下の産学連携について合意しました。

- 愛知学院大学歯学部卒の開業医への歯髄細胞ストック(献歯™)協力呼びかけ
 - 歯髄細胞を用いた歯科再生医療(歯髄炎に伴う抜歯後の歯髄再生、口唇口蓋裂に対する顎裂部骨再生等)の共同研究
 - 歯髄細胞培養上清を用いた重症口腔乾燥症に対する唾液腺再生の共同研究
- これにより株式会社セルテクノロジーは、再生医療製品の主原料となる他家細胞移植用の歯髄細胞を安定供給できる事業基盤の強化を図り、再生医療の実用化促進に貢献していきます。



沖野天祐さんが 西日本ソフトテニス インカレ シングルスで 優勝

TOPICS
05



7月8日(土)～11日(火)まで滋賀県長浜市長浜市民コートにて「2017年度西日本学生ソフトテニス大会」が実施され、本学ソフトテニス部 沖野天祐さん(心身科学部健康科学科4年)がシングルスで優勝という快挙を遂げました。「入賞(ベスト4)を目標に臨みましたが、勝利にこだわり過ぎず、楽しむ

こと、自分のベストを出し切ることに専念。優勝の瞬間は、これまでの辛い練習や節制した生活が報われ安心しました」という沖野さん。結果を出すことで、支えてくれた家族やコーチ、仲間に恩返しできたたと喜んでいました。今後もソフトテニス部の応援をよろしくお願いします。

心身科学部健康科学科1年 水野泉之介さんがトライアスロンで躍動！

TOPICS
06



7月22日(土)にインドネシアで開催された「ASTCTライアスロン アジア選手権」において、水野泉之介さん(心身科学部健康科学科1年)がジュニア男子10位、日本人ではジュニア3位の好成績を収めました。水野さんは「思うようなレース展開ができず自分の持ち味が出せなかったので、とても悔しい。

でも、初めてのアジア選手権で多くの経験ができました。来年もアジア選手権出場権を勝ち取り、結果を出せるように準備をしていきたい」とコメント。この成績により、水野さんはジュニアランキング2位、ジャパンランキングでも

歯学部歯学科1年 佐野清香さん 女子相撲、全国大会で優勝

TOPICS
07



5月14日(日)に大阪府堺市大浜公園相撲場で行われた「第18回全国選抜女子相撲大会」の個人戦の超軽量クラスに佐野清香さん(歯学部歯学科1年)が出場し、準優勝の好成績を収めました。また7月2日(日)に日本大学八幡山総合体育館で行われた「第5回全国学生女子相撲選手権大会」にも出場し、見事優勝。試合後、佐野さんは「名古屋からテレビの取材班がわざわざ来てくれたので、負けるわけにはいきませんでした」と笑顔で答えてくれました。これからも相撲部の応援をお願いします。

文学部国際文化学科4年 浅野聡太さんが 「公益財団法人クマ財団 第1期クリエイター奨学生」に選出

TOPICS
08



和太鼓クラブAGU丸座の浅野聡太さん(文学部国際文化学科4年)が和太鼓奏者として「公益財団法人クマ財団 第1期クリエイター奨学生」に選出されました。株式会社コロプラの馬場功淳社長が理事長を務めるクマ財団が25歳以下のクリエイターを募集。応募総数約2700件の中から、浅野さんを含む50人がクリエイター奨学生として選ばれました。浅野さんは2014年に愛知学院大学入学と同時に休部中の和太鼓クラブを再開させ、現在コーチとして20名の部員を指導。2015年からはプロ和太鼓奏者としてデビューし、国内外の様々なイベントに出演しています。

「禅」とは

about

禅とは、苦しみの世界から抜け出して悟りに到達するための技法。坐禅によって世界の真相と自己の本来性を見極めようとする瞑想法のひとつと表現することもできます。インドには古代から「解脱」に到達するひとつの手段として、瞑想を用いるさまざまな宗教的行法が存在していました。仏教の開祖である釈尊も、深い瞑想によって「悟り」に到達したと考えられています。

禅仏教の歴史

history

南インド出身の仏教僧である達磨大師が中国に渡って始めたと言われる中国禅宗。唐・宋の時代になると成熟期を迎え、「五家七宗」と呼ばれる多様な宗派が成立しました。優れた禅者が輩出されたのもこの時期です。その後、中国の祖師たちを訪ねた栄西や道元といった求法僧たちによって日本にもたらされ、平安後期から台頭した武士階級の新たな精神的支柱として受け入れられていきました。

はじめての
「禅」

曹洞宗立の学府である愛知学院大学。その教育の根幹には、禅仏教を礎とした「人間を見つめる学び」があります。「COOL JAPAN」が海外で注目を集める中、「ZEN（禅）」の思想も世界に広がっています。日本が誇る、古くて新しい文化について学んでみましょう。

Zen

— 愛知学院
建学の精神

愛知学院の建学の精神「行学一体・報恩感謝」は、禅の思想を基としています。「行学一体」は、知的な理解のみに満足することなく人間的な成長をめざす「知の実践」を意味します。「報恩感謝」は、自己を正しく捉えて、共に生きるすべての人や社会に感謝し、その恩恵に報いる心を表す言葉です。

Pick up

キャンパスで触れられる仏教美術

図書館情報センター収蔵
「涅槃図」

本学図書館情報センターが貴重資料として保存しているひとつが、愛知県小牧市の青松山正眼寺より寄託された涅槃図。涅槃図とは、お釈迦さまが入滅された様子を描いたもので、多くの仏教寺院では入滅日の2月15日に涅槃図を飾り、涅槃会が厳かに執り行われます。平成29年2月15日(水)には、日進キャンパスでの涅槃会式典終了後に涅槃図が特別公開されました。

禅と日本文化

鎌倉時代から室町時代にかけて日本国内で禅宗が流行。「茶道」「書道」「剣道」「弓道」など、「道」と名が付く文化には禅の思想が色濃く反映されています。とりわけ茶道においては、俗世界から離れた生き方を理想とする「侘び茶」のスタイルが確立され、安土桃山時代には千利休が茶の湯を大成させました。また、禅宗寺院の庭を中心に瞑想や坐禅の場にふさわしい造形として枯山水式庭園が発達。さらに中国から伝わった水墨画を禅宗の僧が描くようになり雪舟ら多くの水墨画家が誕生するなど、今日まで残っている多くの日本文化に禅は大きな影響を与えています。

禅の実践「坐禅」

身近な体験の場

曹洞宗が認可した参禅道場、坐禅会を行っている寺院が全国にあります。曹洞宗公式ポータルサイト「曹洞禅ナビ」で身近な体験の場を探し、生活に坐禅を取り入れてみてはいかがでしょうか。

曹洞宗公式ポータルサイト「曹洞禅ナビ」
<http://www.sotozen-navi.com/index.cfm>



曹洞宗公式サイト「曹洞宗ネット」
<http://www.sotozen-net.or.jp/>

禅の修行のひとつに、座って精神を集中させる「坐禅」があります。日常から切り離れた場に身を置いて身体・呼吸・心をととのえ、自分を見つめる。そうすることで、集中力や物事に動じない心を養うことが目的として、坐禅堂で行うことが望ましいですが、自宅でも可能です。静かで清潔な部屋で、簡素な服装・素足で行ってください。一人の場合も、坐禅の作法を守ることが大切です。愛知学院大学の設立母体である曹洞宗の公式サイト「曹洞宗ネット」では、坐禅の作法を紹介しています。ぜひアクセスし、実践してみてください。

「禅の心を体感する、愛知学院大学の坐禅行事」

身近な入り口「坐禅体験」



禅・茶話の会「放光」

名城公園キャンパス内の坐禅室「放光台」で月に一度、地域の方を対象に開催。椅子坐禅の体験、茶菓と一緒に禅や仏教にまつわる講話を聴いていただくなど、気軽な体験の場を提供しています。



火曜参禅会

昭和55年、日進キャンパスに坐禅堂が開単されて以来続いている伝統の参禅会。本学の教職員や学生をはじめ、広く学外からも会員を募り、原則として毎月第2火曜日に実施しています。



夏休み坐禅体験教室

日進市との官学連携事業として、市民の方を対象にした坐禅体験を日進キャンパスの坐禅堂で実施。坐禅の仕方や作法を学び、心を落ち着ける体験の機会として好評を得ています。

永平寺一泊参禅

永平寺一泊参禅は、本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づく伝統の研修行事です。出向くのは、寛元2年道元禅師によって開創された「日本曹洞宗」の第一道場で、出家参禅の道場である曹洞宗大本山永平寺。厳しく真理を追求した祖師の精神に少しでも触れることによって、勉学や社会生活に生かすことを目的としています。今年は、8月に第1班152名、第2班114名の学生が参加。「自分を見つめ直すことができた」などの感想の通り、今後の学生生活また社会生活において集中力と忍耐力を学ぶいい機会となりました。



「禅・茶話の会『放光』」、「火曜参禅会」は、禅研究所のホームページで予約を受け付けています。<http://zenken.agu.ac.jp/>

愛知学院大学 禅研究所

The institute
for Zen studies

愛知学院大学の建学の精神の基本である禅の教えを内外に発信するため、また禅仏教の研究と実践を推進するため、昭和40年に設立されました。本学教員を中心に、文学・宗教・歴史など各分野の専門家が所員・研究員として禅仏教とその周辺領域に関する多様な専門研究を推進。関連書籍の刊行、学内外の研究者などを招いた講演会・研究会の開催、「火曜参禅会」の開催など、禅や日本文化への理解を広く社会に促すために幅広く活動しています。



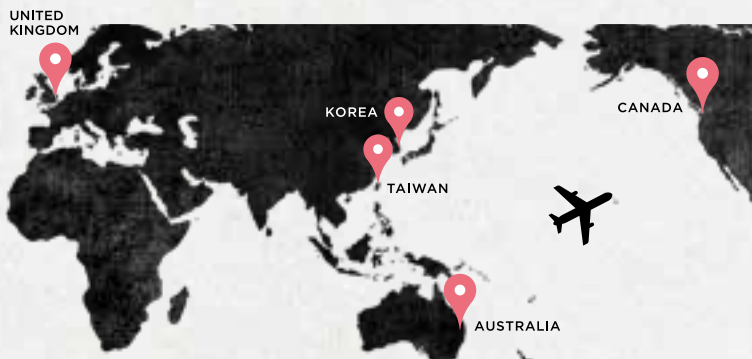
ACTIVE REPORT

SPECIAL
EDITION

2017 海外研修
レポート

この夏、海外で学びを深めた学生たちからの報告をご紹介します。

愛知学院大学では、真の国際人育成をめざし数々の国際交流活動に取り組んでいます。中でも人気のが、夏期休暇期間に実施される海外語学研修とグローバル人材育成プログラム(韓国コース・台湾コース)。学生たちの海外経験の第一歩を後押しし、知的好奇心の刺激、自己成長への挑戦につなげています。この夏、世界各地でさまざまな経験をした彼らの成長の軌跡をご覧ください。



海外語学研修



AUSTRALIA

ボンド大学

文学部
英語英米文化学科3年
安達 卓哉



英語力の向上と自己成長をめざし、海外語学研修に参加することを決めました。研修先にオーストラリアを選んだのは、学科の講義で文化や生活について学び、興味を持ったからです。実際、現地で生活してみると、日豪のライフスタイルの違いに驚きました。オーストラリアの人たちは、家族と過ごしたり趣味を楽しむ時間を持つために、短時間で集中して仕事をします。自分の時間を大切にするという価値観が根づいている印象を持ちました。ボンド大学の研修プログラムは、文法の授業やグループアクティビティが中心。他国からの留学生たちも多く、最初の1週間ほどは彼らの積極的な姿勢に僕たち日本人学生は圧倒されていました。でも、毎日の授業や週末の課外活動を通して刺激を受け、最終週には全員が自分の意見をしっかり発言できるようになりました。英語のリスニング力も向上し、自分から話しかけて現地の学生たちとの交流を広げることもできました。また、現地で実際に生活し異文化に触れたことで視野も広がったと思います。3週間の研修を通して身についた積極性やコミュニケーション能力を、今後の大学生活や就職活動に生かしていきたいです。

MY FAVORITE



Opera House

以前から行ってみたかったオペラハウス。どの角度から見ても表情が異なるデザインを間近で見えて感動!



Host Family

3週間という短い時間の中で本当の家族のように接してくれたホストファミリー。美味しいごはんを作ってくれたり、時には笑わせてくれたり、最高の家族でした。



Dinner

ホームステイ先でのディナー。オーストラリアの食事はサラダの量が多く、それだけでお腹一杯になるほどです。外国の人は野菜をあまり食べないイメージがあったので驚きました。

海外語学研修



UNITED KINGDOM

カンタベリー・クライスト・チャーチ大学

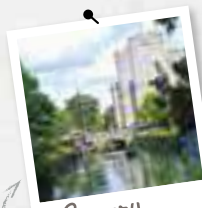
総合政策学部
総合政策学科3年
加藤 黎



ホームステイ先のカンタベリーは、大聖堂を中心に栄える賑やかな町。優しい人が多く、とても暮らしやすい土地柄でした。ホストファミリーもみんないい人で、気さくに話しかけてくれたおかげで当初の不安も吹き飛び、楽しく過ごすことができました。また、イギリスの料理は美味しくないと思っていたが、実際にはとても美味しかったです。現地の大学では、イギリスの文化や生活習慣などを理解しながら、日常生活で役立つ英語表現を中心に学びました。他国からの留学生も多く、放課後には一緒にスポーツをしたりパーティーをしたりして交流を深めました。最初は会話を聞き取ることができず苦労しましたが、ゆっくり繰り返し話してもらうことでリスニング力も向上していったと思います。イギリスに行くまでは、自分の英語が通用するのかわからない不安でしたが、ジェスチャーを加えたり表現を工夫したりすることで思いを伝えられるようになり、自信ができました。今回、一番学んだのは、これまで自分が見てきた世界はほんの一部に過ぎないということです。今後もさまざまな国に行き、それぞれの言語・文化・価値観に触れて自分の世界を広げたいと思うようになりました。

MY FAVORITE

イギリスでの研修に一人で参加した僕。でも、今回の研修を通して愛学生や現地で知り合った他大学の学生とも仲良くなり、放課後にはバスでさまざまな場所に出かけました。



#Scenery

カンタベリーの町を流れる川景色。水がきれいでも川沿いはとても静か。ここではよくランチを食べました。



Friend



Fish and Chips

フィッシュ・アンド・チップスは、食べきれないほどのボリューム。現地ではチップスに塩と酢をかけて食べるのが定番で、真似してみるととても美味しかったです。

海外語学研修

CANADA ビクトリア大学

総合政策学部
総合政策学科3年
井上 美咲



今回の語学研修は、私にとって初めての海外渡航。不安でしたが、せっかく参加するなら少しでも長く滞在し、英語だけでなく現地の文化や暮らしについても学びたいと思い、より滞在期間が長いカナダ・ビクトリア大学を選びました。出かけてみると、ビクトリアは本当に素敵な町でした。湿度が低くて過ごしやすく自然豊か。バスでは席を譲り合うなど、人々も親切で明るくフレンドリーです。研修でできた友人たちとダグラス・マウンテンに登った時も、みんなが助けてくれたおかげでとても素敵な思い出づくりができました。山頂から一望に眺めたビクトリアの町の美しい夜景とともに、その時の思いは今も胸に残っています。ビクトリア大学では日本人留学生向けのプログラムを履修。1クラスに一人、現地の学生がアシスタントとしてついてくれたので、安心して大学生活を送ることができました。午前中は会話やクイズ、劇などを通して楽しく英語を学習。午後のアクティビティでは、ダウンタウンや公園に出かけたり、みんなでダンスをしたり、毎日違った体験に刺激を受けました。今後は海外の友達を増やし、自分に自信をつけて積極的にコミュニケーションしていきたいです。

MY FAVORITE

私の一番のお気に入りにはコージ・パークの橋から見るサンセット。通るたび異なる表情の夕日に癒されました。



Market



Koji Park

ビクトリアの近くにあるソルト・スプリング・アイランド。サタデーマーケットが有名で、アクセサリー、ソーブ、野菜や果物、おにぎりなどさまざまなお店で賑わっています。

Japanese Food

ビクトリアの日本レストラン「SenZushi」。店員さんはほとんどが日本人で料理の種類も豊富。友達とシェアしてさまざまな料理を食べましたが、どれも本当に美味しかったです。



グローバル人材育成プログラム

TAIWAN 慈済科技大学

文学部
グローバル英語学科3年
阪上 真由



研修先の慈済科技大学の学生は、みんなとても親切。授業後の自由時間や土日には、おすすめの飲食店に連れて行ってくれたり、通訳として観光に付いてきてくれたり、さまざまな場面で助けてくれました。キャンパスでは中国語が飛び交い、私たち日本人やイギリス、タイ、フィリピンから来た学生は言葉の壁に圧倒されましたが、みんなとてもフレンドリーで、すぐに仲良くなりました。現地での体験で最も印象的だったのは、デイケアセンターを訪問したことです。台湾の学生の通訳を通してお年寄りに接すると、皆さんは私たちの目を見て笑顔で話をしてくださいました。かつて台湾が日本の統治下にあったにも関わらず…。その時、自国の歴史についてより深く学ばなければならないと改めて感じたと同時に、コミュニケーションにおける世界の共通語は、言語ではなく笑顔なのだと痛感しました。台湾の学生がかけてくれた「会話にテストはない。思った通り言葉にすれば伝わるよ」という言葉も後押しになり、文法に縛られずコミュニケーションする力を養えたと思います。今回の経験を生かし、今後はいろいろな国の同年代の人との交流を広げたいと思います。

MY FAVORITE



Friend

仲良くなった台湾とマレーシアの学生。二人とも明確な将来の目標や自分の意見をしっかりと持っていて、とても尊敬できる存在。それぞれの国に遊びに行く約束をしました。

行列ができる人気の小籠包専門店 Din Tai Fung の小籠包。今まで食べた小籠包の中で、一番美味しかったです。時間があればぜひ行って、少し贅沢してみてください。



Ocean

台湾で見た最高の景色。花蓮市の海です。みんなと一緒に観光し、たくさん会話をして、仲良くなりました。



Food

グローバル人材育成プログラム

KOREA 東国大学

経済学部
経済学科3年
伊野 隼平



考え方の幅を広げるため、そして報道で知る韓国と自分の目で見る韓国の違いを確かめるため、このプログラムに参加。実際に見たソウルの街は都会でありながら高層ビルだけでなく芸術的な建造物や自然豊かなエリアも多く、日本の大都市よりもいろいろなものが目に触れやすい印象です。また、韓国の人たちはとてもフレンドリーで、地下鉄で話しかけられることも頻繁にありました。研修先の東国大学では、韓国語の授業と韓国の有名企業の人々が講師を務める講義を受講。化粧品メーカーやエンターテインメント企業の戦略などの話は、とても興味深かったです。この研修で実感したのは多言語の壁、英語だけでは不足だということ。より多くの地域の人たちと交流し、価値観や考え、心の器を広げていきたいと強く感じるようになりました。



MY FAVORITE



University

東国大学の学舎。階段の左下には大きな石碑があり、日本とは違う雰囲気を感ぜられて個人的に大好きな場所でした。

Buddy

一番楽しみにしていた現地の大学生との交流。Buddyたちは優しく愉快な人たちがかりで、ソウルのおすすめスポットに案内してくれるなど、とても親切にしてくれました。



Friend

現地では、他大学から参加した7人の男子学生や僕たち研修生を歓迎してくれるBuddyと、とても仲良くなりました。最終日には泣き出す人がいるほどで、青春を実感！



2017年度 東日本大震災 ボランティア活動報告

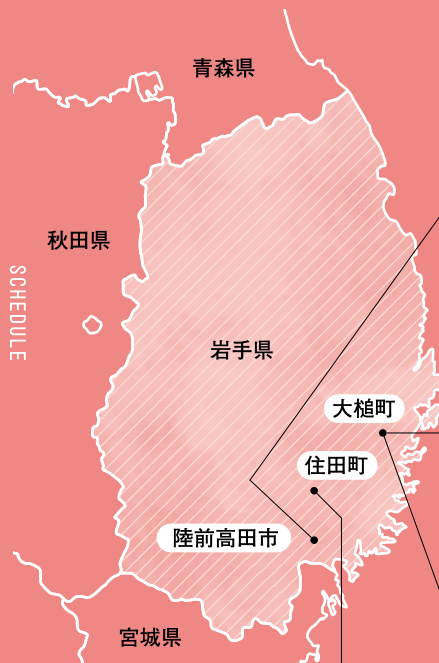
東日本大震災直後から続いている被災地支援。
今年も多くの学生が参加し、ボランティア活動や
現地の方々との交流に取り組みました。

岩手県 住田・大槌 コース

活動概要

日程：平成29年8月6日（日）～8月10日（木）
場所：岩手県住田町、大槌町、陸前高田市
参加学生数：14名

8月6日（日）	・名古屋小牧→花巻→陸前高田市 ・普門寺、ヤルキタウン訪問
8月7日（月）	・大槌町語り部講話、江岸寺お参り ・大槌町内仮設住宅にて活動
8月8日（火）	・大槌町内仮設住宅にて活動 ・住田町内仮設住宅にて被災された方からのお話
8月9日（水）	・住田民俗資料館見学 ・清掃活動、砂金採り体験 ・民泊先の方との交流
8月10日（木）	・世田米学童の子供たちと交流 ・住田町→花巻→名古屋小牧



▲2年前に植樹をした「ハナノキ」の様子を見に「再生の里 ヤルキタウン」を訪問しました。



▲大槌町江岸寺にて、6年前の大震災で被災により亡くなった大萱生寛海君（当時、文学部宗教文化学科1年生）のお墓を参拝しました。

学生VOICE

法学部法律学科3年
服部 充己さん



東日本大震災ボランティアには2回目の参加。震災から6年以上経過し、景観は年々整備されているかもしれませんが、現在でも仮設住宅で不便な生活を強いられ、震災当時を昨日のこのように覚えている方も少なくないのが現状です。現地での活動は仮設住宅への訪問や学童クラブの子供たちとのふれあいなど、現地の方とのコミュニケーションで心の復興に携わることを目的としています。「ありがとう。来年も必ず来てね。」と言っていたいたときは本当に嬉しかったです。今回の活動を通して多くの方から元気をいただきました。5日間での経験は、私にとって一生の財産になったと思います。



▲住田町世田米学童クラブの子供たちと学生が企画したゲームやニューススポーツを楽しみました。



▲大槌町の仮設住宅で風鈴作り、ドミノ倒し、鬼饅頭作り、フォトフレーム作り、ういろう作り、輪投げゲームなど学生が企画したイベントを行いました。



▲完成した鬼饅頭



東日本大震災時に実際に救助を行った消防士さんに当時のお話を伺いました。救助中のストレス等、消防士ならではの話も写真と共に聞くことができました。

◀防災キャンプでは、1泊2日の避難所運営体験を実施。学生自身が被災者となり実際に避難所を1から立ち上げ、運営を行うプログラムを体験しました。



◀石巻市の大川小学校の津波にて娘さんを亡くされた保護者の方から当時のお話を伺いました。お仕事は中学校の教員をされており、娘さんを亡くされた保護者という立場と教員という立場の両面からお話を伺えました。

宮城県 南三陸 コース

活動概要

日程：平成29年8月18日(金)～8月21日(月)

場所：宮城県南三陸町、石巻市

参加学生数：15名

8月18日(金)	・名古屋→仙台→南三陸町 ・防災プログラム(避難所運営シミュレーション)
8月19日(土)	・防災プログラム(避難所運営シミュレーション) ・南三陸消防署 消防士講話 ・復興住宅草刈
8月20日(日)	・復興住宅草刈 ・農家ボランティア ・大川小学校見学・語り部講話
8月21日(月)	・語り部さん講話 ・漁具清掃、整備活動

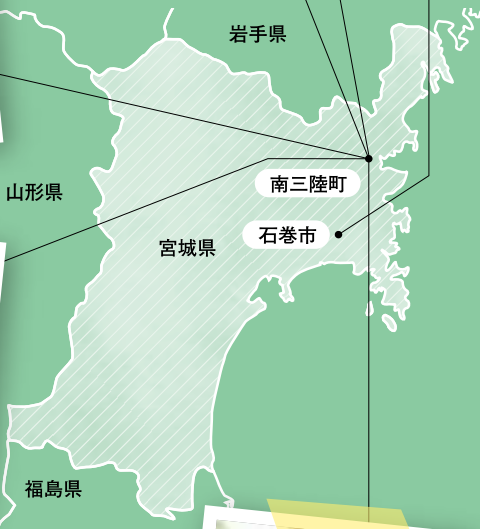
SCHEDULE



◀南三陸町に建設された名足復興住宅で敷地内の草刈を行いました。



▲南三陸町内ネギ農家にて発送作業手伝いのボランティア活動を行いました。



南三陸町内で漁具の清掃や整備活動を行いました。写真はホタテを養殖する漁具の整備作業です。

南三陸町で活躍する卒業生

光嶋 律絵(2007年度心身科学部心理学科卒業)

南三陸町観光協会・南三陸応援団

大学卒業後、関東の会社で働いている時に、東日本大震災を経験し被災地の力になりたいとボランティアとして南三陸町を訪れました。ボランティア先である南三陸町の人の温かさ、居心地の良さに心ひかれすぐに南三陸町への移住を決断しました。現在は南三陸町観光協会でも観光資源があふれる町のPR活動を中心に様々な活動に携わっています。多くの人と関わり、町のことを考える毎日とてもやりがいを感じています。将来的には母校と南三陸町をつなぐ活動もしてみたいと考えています。



学生VOICE

心身科学部健康科学科4年
村井 彩華さん



3度目の東日本大震災ボランティア。活動を通して現地の方々と触れ合うことは素晴らしい経験になりました。当時のお話を聞き、私たちには理解できないほどの悲しみやつらさを乗り越えて前を向き頑張っている現地の方々の姿に、考えさせられることが多くありました。日々の生活が当たり前ではないということや、周りの人への感謝の気持ち、我々の災害への意識の薄さなどです。日々の生活を振り返り、改めることのできる良いきっかけとなったと同時に、東日本大震災という出来事を忘れてはならないと、再認識することができました。この活動での学びを、これからの生活に繋げていきたいと思っています。

REPORT

平成29年度 大学後援会支部懇談会 全国32会場で開催

6月3日(土)より約1ヶ月に渡り、全国32ヶ所で平成29年度大学後援会支部懇談会が行われました。各会場、多くの皆様にご参加いただけて多くの貴重なご意見やご要望を頂戴し、非常に有意義な会となりました。寄せられたご意見・ご要望は大学側で検討を行い、順次改善につなげて参ります。参加者からは「参加しないと分からないようなことが聞くことができよかった」「個別懇談がよかったです。また後援会の内容も知ることができました」などの感想もいただきました。多数のご参加、誠にありがとうございました。



TOPICS

文系学部1年生の 保護者を対象に 個別相談会を開催

大学後援会の新たな試みとして、文系学部1年生の保護者を対象とした個別相談会を実施いたします。ご子女の成績や課外活動など学生生活全般についてお気軽にご相談ください。申込み方法については、成績通知書に同封の案内をご参照ください。

開催日	平成29年11月4日(土)
時間	13時30分(13時より受付開始)
場所	日進キャンパス けやきテラス
お問合せ先	大学事務局事務部庶務課 TEL 0561-73-1111(代)

REPORT

平成29年度第1回 「学生のための 安全管理講習会」を実施

6月23日(金)、日進キャンパスにて安全管理講習会が開催され、学生約220名が参加。環境省提供のDVDに沿って熱中症対策について学んだほか、法務支援センターの田中淳子教授の講義「学生生活と法的責任・飲酒による生命・健康の被害を与えた場合」を受けました。学生からは「熱中症の予防の重要性や応急処置を学べた」「アルコールハラスメントの恐ろしさを部員全員で共有したい」などの声があがり、それぞれの危険性について再認識するよい機会となりました。



NEWS

本学職務発明が 特許登録されました

本学が単独で出願した職務発明「顎関節脱臼防止具」が、平成29年7月7日付で特許庁により正式に特許登録されました。(特許第6168662号)この発明は歯学部 栗田賢一教授らによるもので、旭ゴム化工株式会社(名古屋)と株式会社バルメディカル(東京)の支援を受け、「AGOKYAPP」の商品名で販売を予定。顎関節脱臼の患者が装着し脱臼の再発を防止するための医療機器として、老人保健施設や歯科医院での使用をめざしています。

REPORT

盛況だった 夏のオープンキャンパス 9179名が来場

8月4日(金)・5日(土)、暑い日差しの中、夏のオープンキャンパスが日進・名城公園・楠元キャンパスで開催されました。合わせて9179名の高校生・保護者が来場。活気に溢れた2日間となりました。各キャンパスでは模擬授業、個別相談、入試対策講座、キャンパスツアーなどが行われ、高校生からは「学部学科の学習内容の違いがよく理解できた」「在学生が明るく、キャンパスに活気があった」などの感想が寄せられました。今後は12月9日(土)、名城公園キャンパスで「入試対策講座」が開かれ、入試シーズンを迎えます。



REPORT

平成29年度 秋季学位記授与式を挙行

平成29年度秋季学位記授与式が9月29日(金)、日進・名城公園(日進との遠隔)、楠元の各キャンパスにて、それぞれ行われました。対象となったのは学部生84名、大学院生1名。両キャンパスとも佐藤悦成学長が式辞を述べ、本学を巣立つ学生を激励しました。卒業、修了された方の今後の活躍を祈念します。

平成28年度
施設整備計画に伴う寄付金
ご協力者ご芳名録(順不同)

ご寄附いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。また、ご寄附を賜りました資金は教育施設・設備等の充実に充分活用させていただきます。なお、掲載について、公開の許可をいただいた方のみとなっております。

眞藤 遠川 橋川 森本 ●1口	畔羽 館 ●2口	亀大 長野 大野 竹内 ●3口	中西 ●5口	稲上 森川 ●10口	渡邊 ●500口
田掛 矢井 本原 本	柳生田 和宏	山 威 谷川 道治 幸夫	泰夫	幸博 史泰	義文
直浩 利宏 辰朗	徹徹	正智 洋二			
服関 花松 竹大 岩太 天葭 柳柳 鈴木 三宮 辻水 角森 山内 大秋 橋高 小金 野中 高岡 上井	部村 園本 下市 砂田 邊林 田原 木浦 澤治 本野 谷鼻 浩幸 三知 夫				
雅俊 まり 恭秀 正道 浩史 健治 佳弘 貴英 敏之 直樹 清治 英一 縁基 浩弘 正司 和佳 通吉 京也 守謙 章光 武雅 誠一郎 一幸	吉之 子				

シューカツの現場から

VOL.10

MESSAGE FROM CAREER CENTER



今回のお題

企業が求める「社会人基礎力」

今、企業や就職活動の現場で注目を集めているのが「社会人基礎力」。働く上で必要な能力について、企業・学生・大学に共通の認識を持たせる目的で、経済産業省が中心になって定義されました。社会人の行動指針とも言えるべきこの能力について把握し、早い時期から意識して行動することが、就職活動への第一歩となりそうです。

9割以上の企業が「必要」と答えた能力の具体的な要素とは。

① 自ら積極的に行動を起こし、失敗しても粘り強く取り組む「前に踏み出す力」、②問題を見つけて、解決に向けて方法を考える「考え抜く力」、③いろいろな人と一緒に目標に向けて協力する「チームで働く力」。経済産業省は、この3つの能力を12要素に分類し「社会人基礎力」として定義・明文化しています(下記表)。これが採用時のポイントになると答えている企業が9割以上にのぼるというデータもあり、就職活動では自己分析の指標となるはず。もちろん、すべてを高いレベルで身に付ける必要はありません。長所は伸ばし、短所を把握して成長の糧にする。そんな活用の仕方をおすすめします。

【社会人基礎力】

大分類	能力	行動例
前に踏み出す力 (アクション)	主体性	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む
	働きかけ力	「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく
	実行力	自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む
考え抜く力 (シンキング)	課題発見能力	目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する
	計画力	課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする
	創造力	既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決法を考える
チームで働く力 (チームワーク)	発信力	自分の意見を分かりやすく整理したうえで、相手に理解してもらえるように的確に伝える
	傾聴力	相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す
	柔軟性	自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する
	状況把握力	チームで仕事をするとき自分がどのような役割を果たすべきかを理解する
	規律性	状況に応じて、社会のルールにのっとって自らの発言や行動を適切に律する
	ストレスコントロール力	ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する

資料出所：経済産業省「社会人基礎力に関する研究」

学生時代のさまざまな活動が、社会で生き抜く力を養う。

「社会人基礎力」は、実体験を通してしか身に付けることはできません。学生時代は、この力を養うための大切な期間です。学問、資格取得、クラブ・サークル、アルバイト、留学、ボランティア、自主活動など、さまざまなことに自らの意思でチャレンジして欲しいと思います。保護者の皆様には、学生が好きなこと、興味を持てることに打ち込める環境づくりやサポートをお願いします。

キャリアサポート通信

就職活動の相談窓口「学部担当制」

友人同士でも何かと相談しづらいことが多い就職活動。そのため、各学部には1～2名の就職担当者を配置し、学生の不安や悩みに対応しています。担当者は学部の特徴を理解した上で、学生の志望や適性を考慮したアドバイスを実施。キャリアアカウンセラーの資格を持つ者も多く、さまざまなケースにきめ細かく対応できます。1年次から利用でき、専用の携帯・メールでの相談も可能です。



INFORMATION



キャリアセンター伝言板

今後の行事予定

10月

- 第3回就職ガイダンス(3年生の就職希望者は全員参加)
エントリーシートの書き方、就活の手引き配布、就活支援講座の予約方法、就活の身だしなみ 等
講座期間 日進キャンパス(10/10・11・12・13・16) [学部毎に日程を設定]
名城公園キャンパス(10/16・17・18)
- 就活トップランナー講座(全10回)
大手・難関企業を志望する人向けのグループワーク中心の講座

11月

- 3年生保護者対象の就職ガイダンス
3年生の保護者様宛に郵送にて案内を送付しています。
- SPI対策講座
採用試験で必ずと言っていいほど使用されているSPI
苦手な人が多い非言語分野(数学など)の対策講座を実施
- 自己分析/自己PRの仕方講座
基礎からしっかりと分析を行い、履歴書を作成していきます。
- 女子学生のためのメイクアップ講座 など

研究室探訪

[宗教への理解を多文化共生社会に生かす。]



先生の研究分野を
教えてください。

01

現代に受け継がれる宗教の習わしを、
自分自身の五感で理解する学問。

私が専門とする宗教民俗学では、信仰が実践されている場所へ実際に足を運ぶフィールドワークを重視しています。宗教は、多くの人にとって「はるか昔にできたもの」で、縁遠く感じるかもしれませんが、古代から伝えられてきた宗教の教義や習わしは現代にも受け継がれ、たくさんの人の人生に影響を与えています。お祭りや伝統芸能として身近に残るものもありますよね。私は、木曾御嶽の御嶽信仰をはじめとする山岳信仰を研究対象としています。その背景にある想いや習慣がどんな形で残っているのかを確かめるために、自ら修験者となり何度も御嶽に足を運んできました。宗教民俗学は、文献を読むだけではわからない現代社会における宗教の実態や影響を明らかにする学問なのです。

今回の訪問先

文学部 准教授
小林 奈央子 先生

Profile

宗教について、民俗学や文化人類学の観点からアプローチ。山岳信仰を主たる研究対象とし、学生時代から修験者（山岳行者）として山歩きにも何度も参加した経験を持つ。信仰を通して宗教とジェンダーの問題も取り上げている。



宗教への理解を深めることが、
実社会でどのように役立ちますか？

02

多文化共生社会で求められる視野の広さ、
メディアリテラシーが身につきます。

グローバル化が進む現代社会では、多文化共生が重要な課題。そんな中、宗教に対する理解が必要な場面は今後、増えていくと思われます。例えば、職場で外国人の方と一緒に働く場合もあるでしょう。そこでは、食べ物の制限、礼拝の習慣など、彼らにとって「守るべきもの」を知り、尊重することが大切です。宗教文化学科のカリキュラムは、日本や諸外国の主要な宗教について幅広く学べる内容です。信教の違いを知ると、物事を深く理解する目も養われます。また、宗教への視野の広さは、メディアの言説を正しく読み解いたり、他者と共存していく上での有用な力になるはずです。



学びを深めるために
力を入れていることを教えてください。

03

フィールドワークを通し、
身近な宗教の“今”を体験的に学びます。

学生が関心を持った神社仏閣やお祭りを選び、現地に足を運んでレポートするなど、フィールドワークをゼミに取り入れています。見学するだけでなく、研究対象となる方々へのインタビューも行いフィールドワークの基本を学びます。地元の神社に行く学生、お祭りや伝統芸能を調べた学生のほか、海外まで出かけた学生もいたんですよ。それまであまり知る機会のなかった神社やお寺の宗教的な由来を知ること、自分が暮らす地域を見る目も変わったのではないのでしょうか。また、お祭りに足を運ぶと、そこで汗を流して伝統を守る人たちと出会えます。宗教的儀式が受け継がれる現場を通して、地域の人々の繋がりが見られるのもフィールドワークの醍醐味のひとつです。

[制作協力: (株)ジオコス]

第65回 愛学祭
日進キャンパスで開催!

11/3
(祝金)

11/4
(土)

総合テーマ

「Bubble〜ハジケル?! ハジマル!! フェスティバル!!!〜」

65回目を迎える今年の愛学祭のテーマは、「Bubble〜ハジケル?! ハジマル!! フェスティバル!!!〜」。来場者の投票により「ミス愛学」を決定する新企画「AGU Collection」では、愛知学院大学の学生が自らの夢や努力について発表します。ほかにもカラオケバトルなど新たな試みが満載。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

愛学祭 検索

